

4. 蒲田地域 エリア特性

概ね蒲田西特別出張所、蒲田東特別出張所の管轄範囲からなる地域です。

■地形

- 地域の大部分は平坦な低地です。東部から西部にかけて標高がやや高くなります。

■土地利用・都市機能の集積状況

- 区の中心部に位置しており、区内最大の商業集積地を囲うように住宅地が広がっています。
- 蒲田駅や京急蒲田駅周辺に、大規模な商店街をはじめとした、商業施設が集積しており、高層の建物が多く立地しています。
- 蒲田駅周辺は、区中心商業地であるとともに、区役所などの公共施設が集積しています。
- 多摩川沿いの地区は、住宅と工場が混在した市街地が広がっています。

■人口

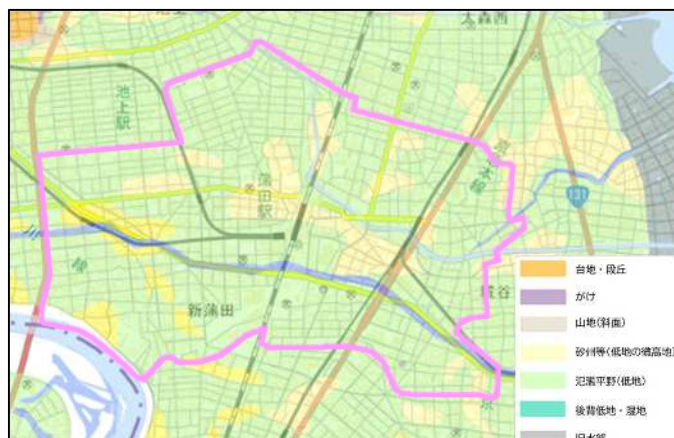
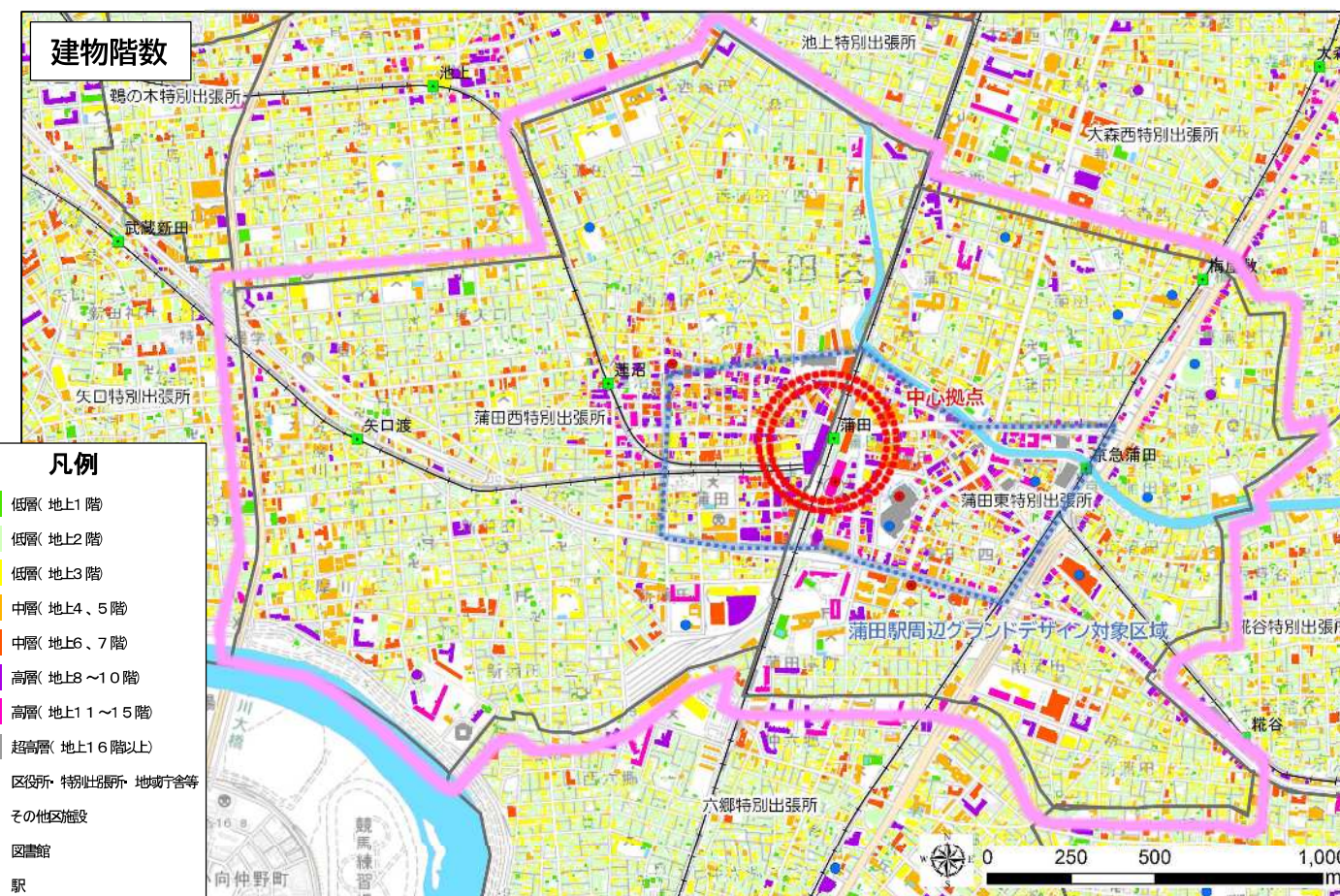
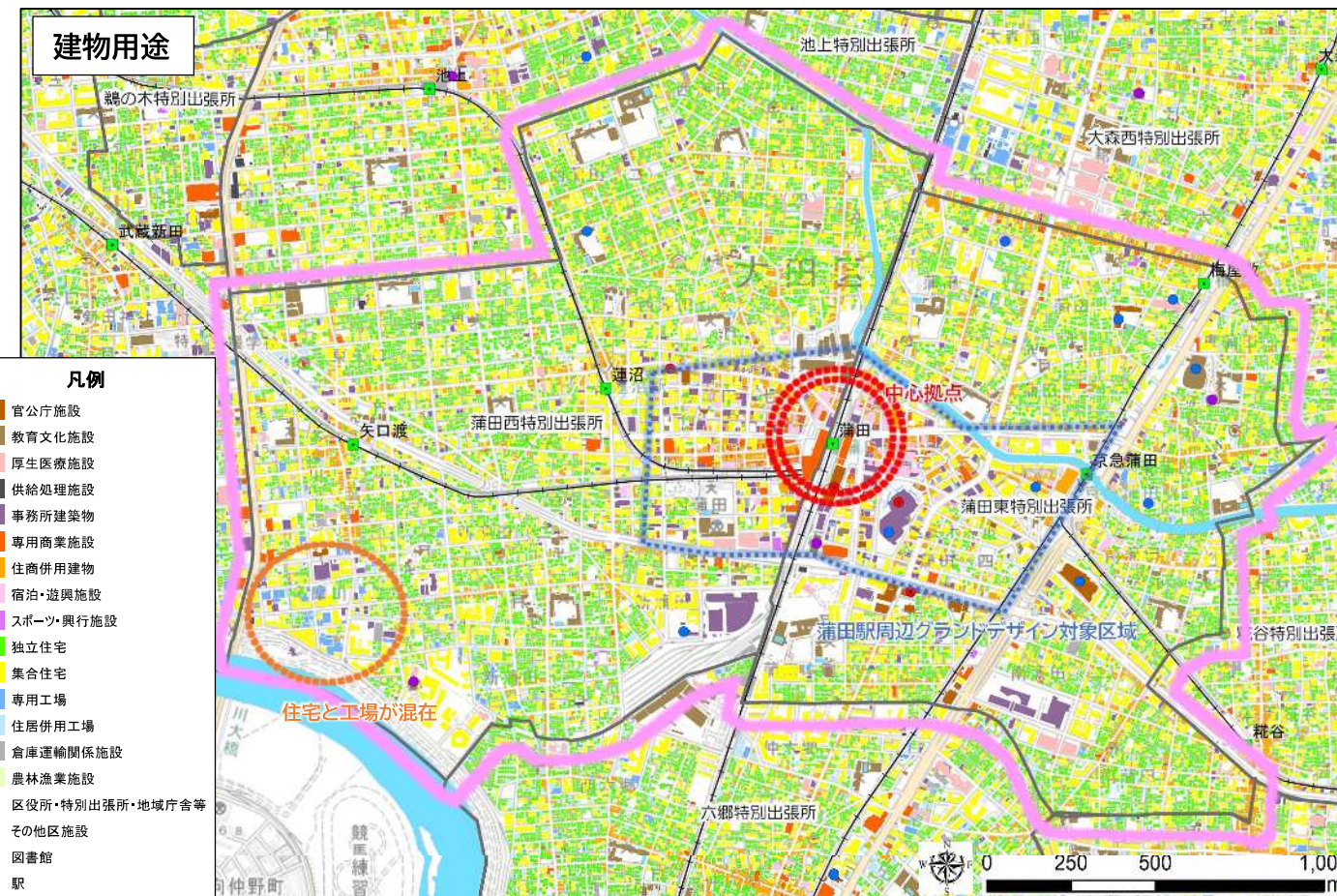
- 昼夜間人口比率が高く、区民だけでなく多くの来街者が訪れる地域であり、経済活動や商業活動が活発な地域です。

■大田区都市計画マスタープランでの都市づくり方針

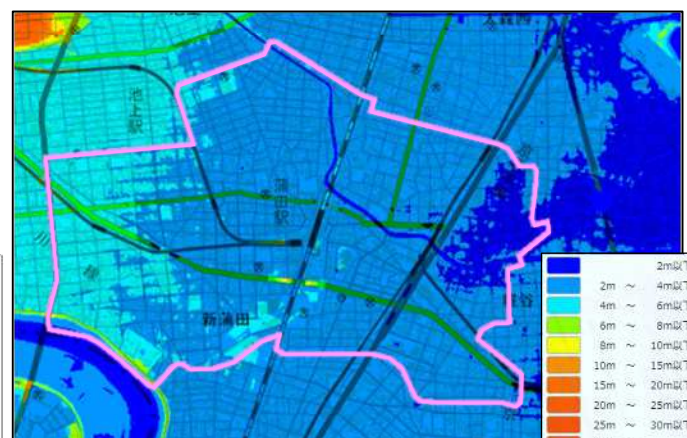
- 蒲田地域では、中心拠点である蒲田駅・京急蒲田駅周辺を中心とした地区の再整備を推進するとともに、空港に近接する利点を活かした取り組みによる都市づくりを進めます。

■まちづくりでの位置づけ・まちづくりの動き

- 蒲田駅周辺は、大田区都市計画マスタープランでの将来都市構造において、**中心拠点(都市機能、鉄道・バスなどが集中する拠点)**に位置付けられています。
- 蒲田駅周辺は、**蒲田駅周辺地区ランドデザインの対象区域**であり、地域住民・事業者・行政が一体となり、「にぎわいあふれる多文化都市、だれもが安心して気持ちよく過ごせる人にやさしい蒲田」を将来像として、まちづくりが進められています。



出典：地理院地図 地形分類(自然地形)



出典：地理院地図 自分で作る色別標高図

特別出張所	面積 (ha)	夜間人口 (人)	世帯数 (世帯)	昼間人口 (人)	昼夜間人口比率 (%)	高齢化率 (%)
蒲田西	272.9	64,306	36,747	69,811	108.6	21.1
蒲田東	194.2	48,059	30,085	60,229	125.3	20.4
合計 (蒲田地域)	467.1	112,365	66,832	130,040	116.1	20.8

出典：R2国勢調査、推計昼間人口データ(esriジャパン)

出典：令和3年度区部土地利用現況調査、まちマップおた、国土数値情報、地理院地図

4. 蒲田地域 水害の危険性

多摩川氾濫の場合

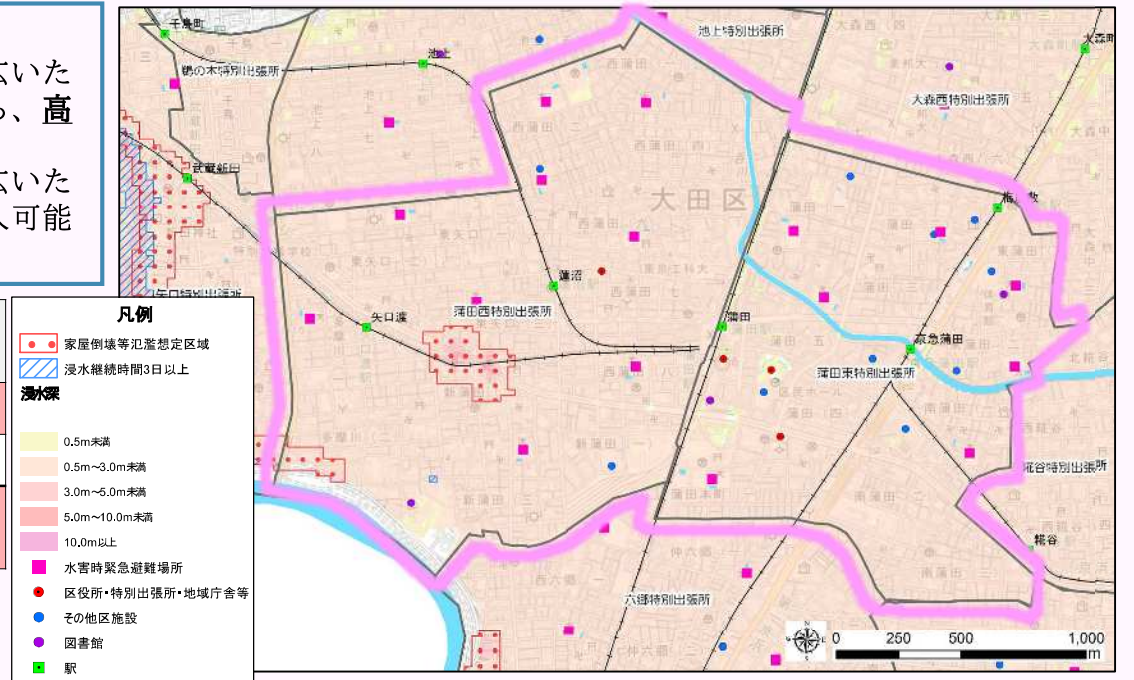
■ハザードの特徴

- 全域で概ね0.5m～3mの浸水が想定されており、家屋の1階が浸水する可能性があります。
- 環八通りと東急多摩川線が交わるエリアでは局所的に5m以上の浸水が想定されており、家屋倒壊等氾濫想定区域です。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 蒲田西特別出張所管轄範囲では、浸水想定区域が広いため避難対象者数が存在し、高台も浸水することから、高台が大きく不足しています。
- 蒲田東特別出張所管轄範囲では、浸水想定区域が広いため避難対象者数が存在しますが、高台で十分に受入可能であり、高台は不足していません。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	家屋倒壊等氾濫想定区域面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
蒲田西	266.7	0.1	9.5	10,774	8,729	2,045人不足
蒲田東	189.6	0	0	5,866	6,968	1,102人余裕あり
合計(蒲田地域)	456.3 (地域面積の98%)	0.1 (地域面積の0%)	9.5 (地域面積の2%)	16,640 (地域人口の15%)	15,697	943人不足



出典：多摩川・浅川・大栗川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、まちマップおた、地理院地図

高潮の場合

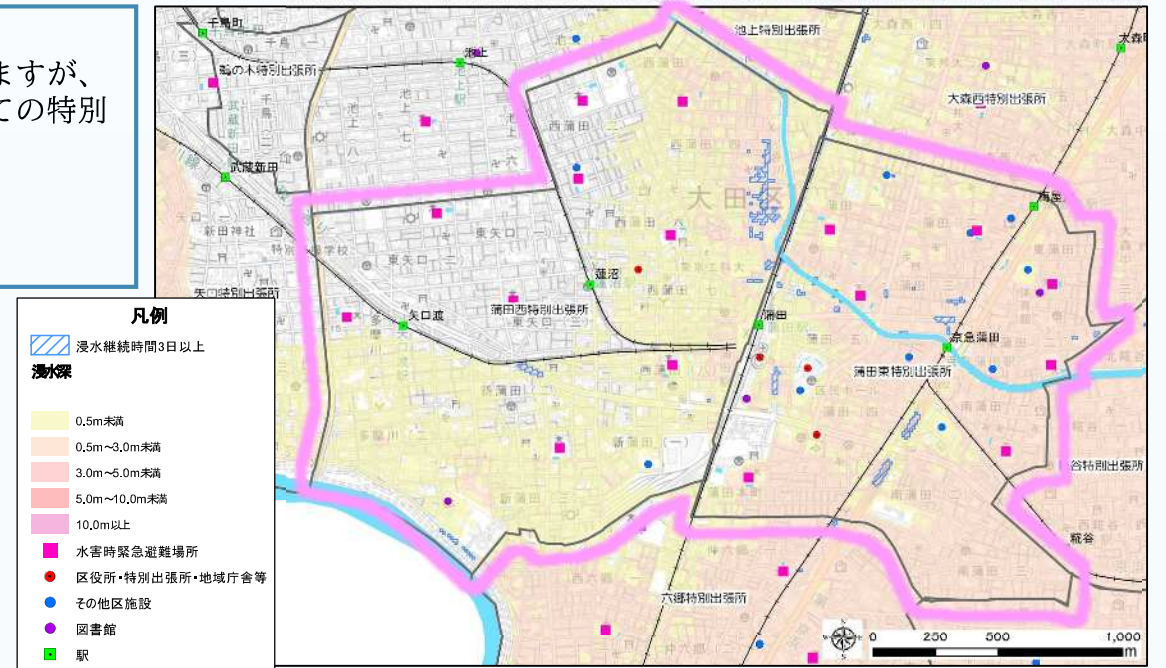
■ハザードの特徴

- 浸水する部分が多く、西部から東部にかけて浸水深が深くなります。
- 蒲田西特別出張所管轄範囲では、概ね0.5m未満の浸水が想定されており、家屋の床下が浸水する可能性があります。
- 蒲田東特別出張所管轄範囲では、0.5m～3mの浸水が想定されており、家屋の1階が浸水する可能性があります。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 浸水想定区域が広いため避難対象者数が存在しますが、高台で十分に受入可能であり、蒲田地域のすべての特別出張所管轄範囲で高台は不足していません。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
蒲田西	152.1	1.8	1,710	11,301	9,591人余裕あり
蒲田東	175.7	1.4	5,328	6,968	1,640人余裕あり
合計(蒲田地域)	327.8 (地域面積の70%)	3.2 (地域面積の1%)	7,038 (地域人口の6%)	18,269	11,231人余裕あり



出典：高潮浸水想定区域図(想定最大規模)、まちマップおた、地理院地図

中小河川氾濫・内水氾濫の場合

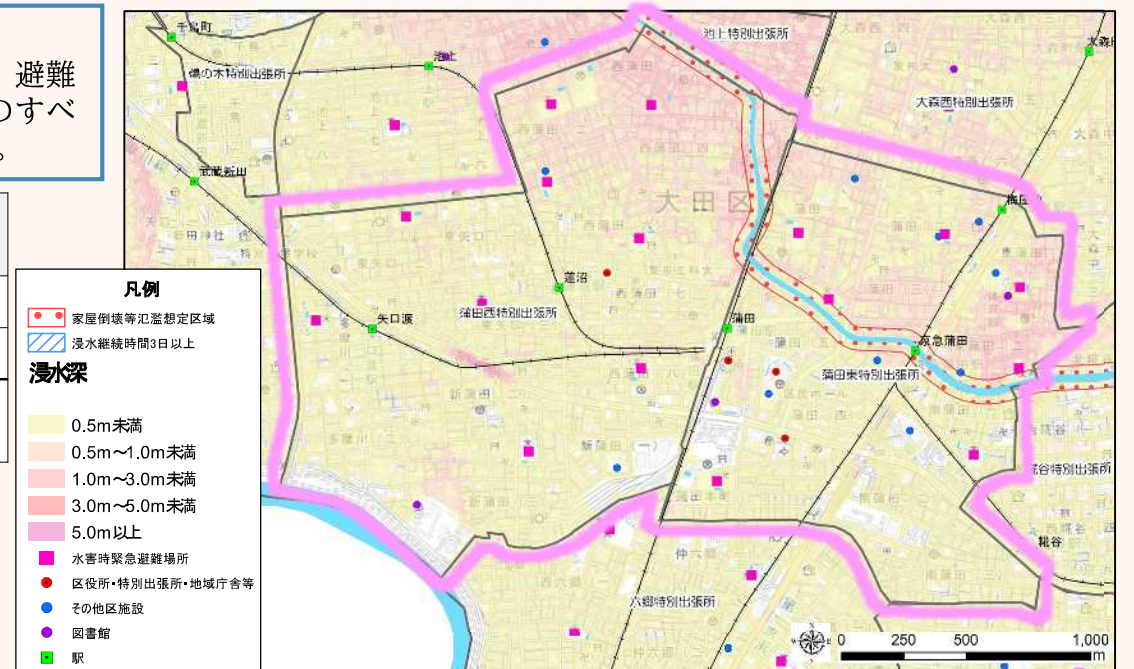
■ハザードの特徴

- 全域が浸水想定区域で、大部分は0.5m未満、呑川周辺では最大3m程度の浸水が想定されています。
- 呑川沿いは家屋倒壊等氾濫想定区域です。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 浸水想定区域が広いですが大部分は浸水深が低く、避難対象者は高台で十分に受入可能であり、蒲田地域のすべての特別出張所管轄範囲で高台は不足していません。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	家屋倒壊等氾濫想定区域面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
蒲田西	245.0	0	7.2	5,063	9,810	4,747人余裕あり
蒲田東	166.2	0	12.5	7,055	7,830	775人余裕あり
合計(蒲田地域)	411.2 (地域面積の88%)	0 (地域面積の0%)	19.7 (地域面積の4%)	12,118 (地域人口の11%)	17,640	5,522人余裕あり



出典：城南地区河川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、野川、仙川、入間川、谷沢川及び丸子川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、東京都作成の内水氾濫浸水想定区域、まちマップおた、地理院地図

5. 多摩川沿い地域 エリア特性

概ね六郷特別出張所、矢口特別出張所の管轄範囲からなる地域です。

- 地形
- 地域の大部分は平坦な低地です。

- 土地利用・都市機能の集積状況
- 駅周辺には商店街があるなど、商業施設が集積しています。
 - 多摩川沿いや環八通り・第一京浜沿いには中高層建物が多く立地しています。
 - 多摩川沿いに住宅と工場が混在した市街地が広がっています。

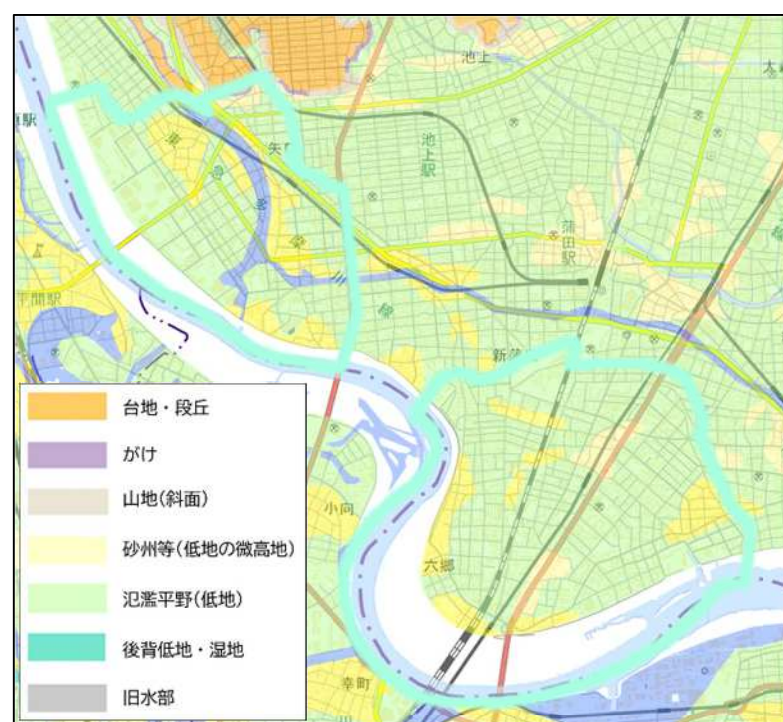
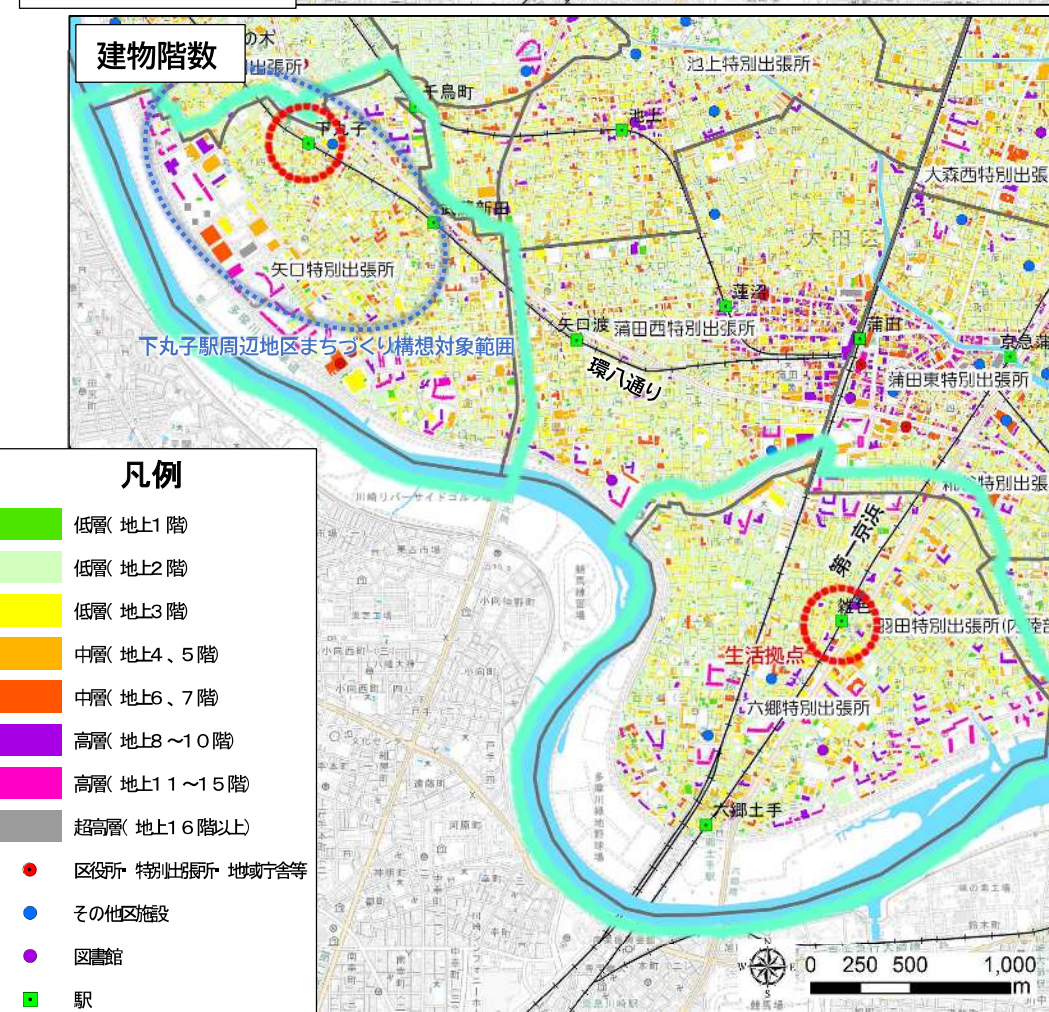
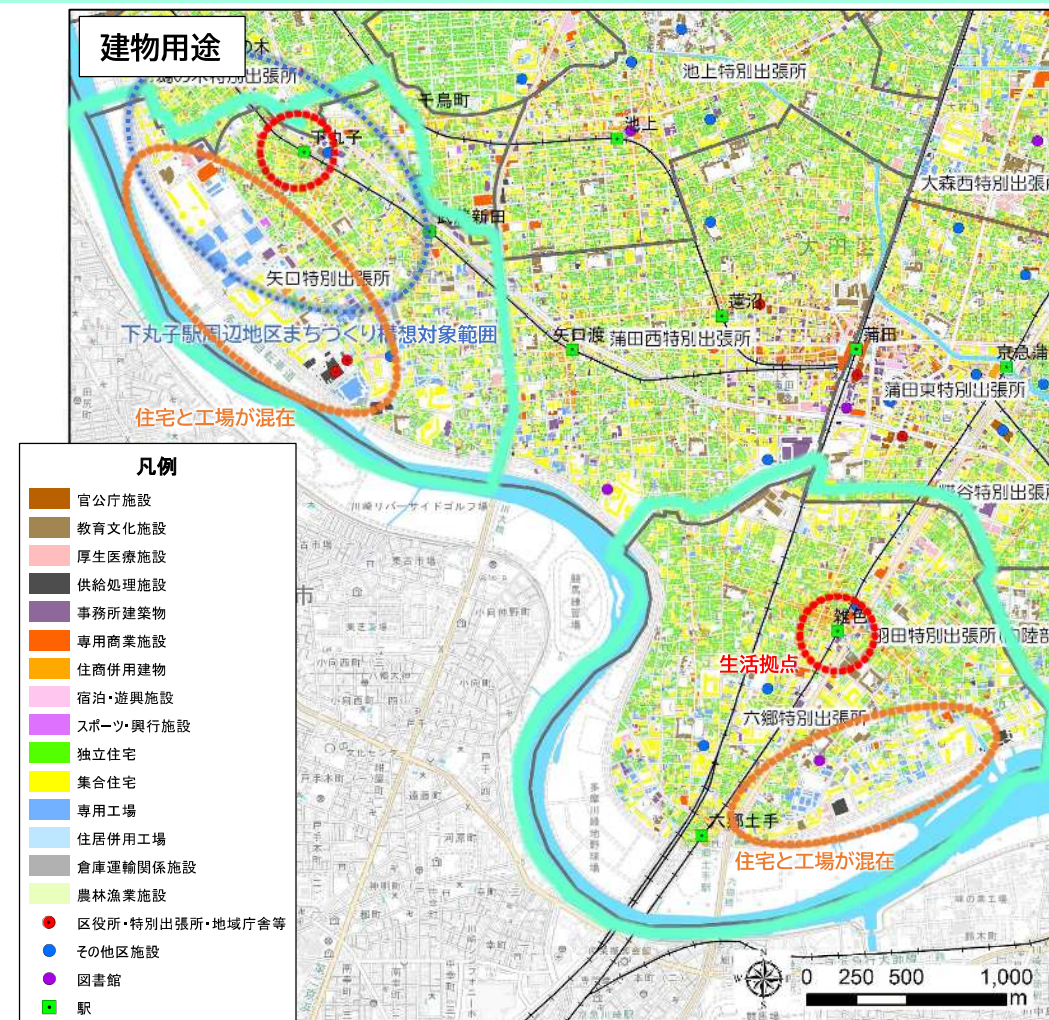
- 人口
- 昼夜間人口比率が低く、主に区民の居住地となっている地域です。
 - 六郷特別出張所管轄範囲は、大田区の中で高齢化率が2番目に高い地域です。

- 大田区都市計画マスタープランでの都市づくり方針
- 多摩川沿い地域では、多摩川河川敷の広大な敷地や豊かな自然を維持・保全・活用するとともに、工場と住宅が調和した都市づくりを進めます。

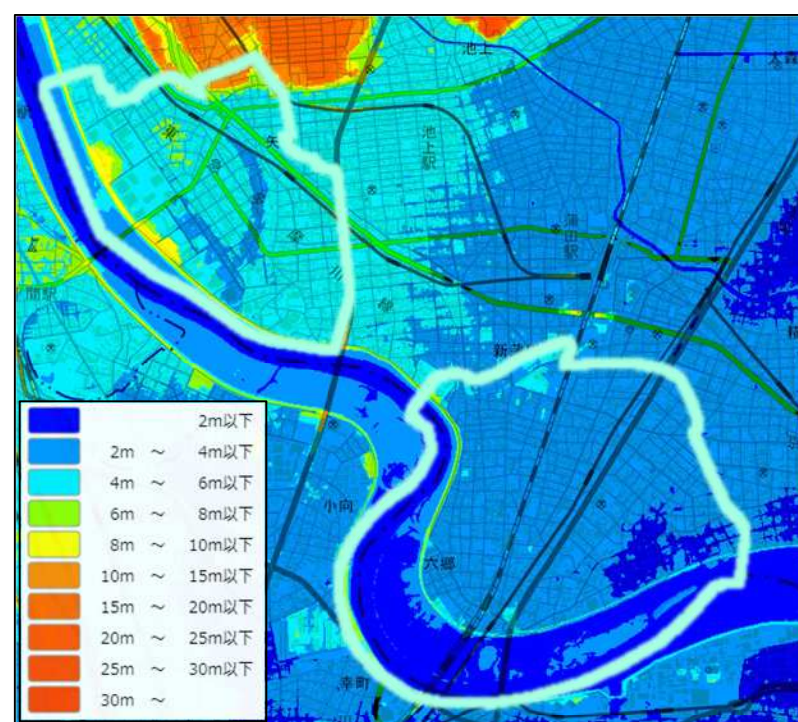
- まちづくりでの位置づけ・まちづくりの動き
- 下丸子駅・雑色駅周辺は、大田区都市計画マスタープランでの将来都市構造において、生活拠点(暮らす・働くなどの生活を支える拠点)に位置付けられています。
 - 下丸子駅周辺は、下丸子駅周辺地区まちづくり構想の対象範囲であり、地域住民・事業者・行政等が一体となり「暮らす・働く・訪れる」大田区らしい多彩な景色が人々を惹きつける」将来都市像を目指したまちづくりが進められています。

特別出張所	面積(ha)	夜間人口(人)	世帯数(世帯)	昼間人口(人)	昼夜間人口比率(%)	高齢化率(%)
六郷	285.8	68,188	34,096	45,132	66.2	24.3
矢口	208.6	43,145	22,078	38,313	88.8	22.5
合計(多摩川沿い地域)	494.4	111,333	56,174	83,445	75.0	23.6

出典：R2国勢調査、推計昼間人口データ(esriジャパン)



出典：地理院地図 地形分類(自然地形)



出典：地理院地図 自分で作る色別標高図

5. 多摩川沿い地域 水害の危険性

多摩川氾濫の場合

■ハザードの特徴

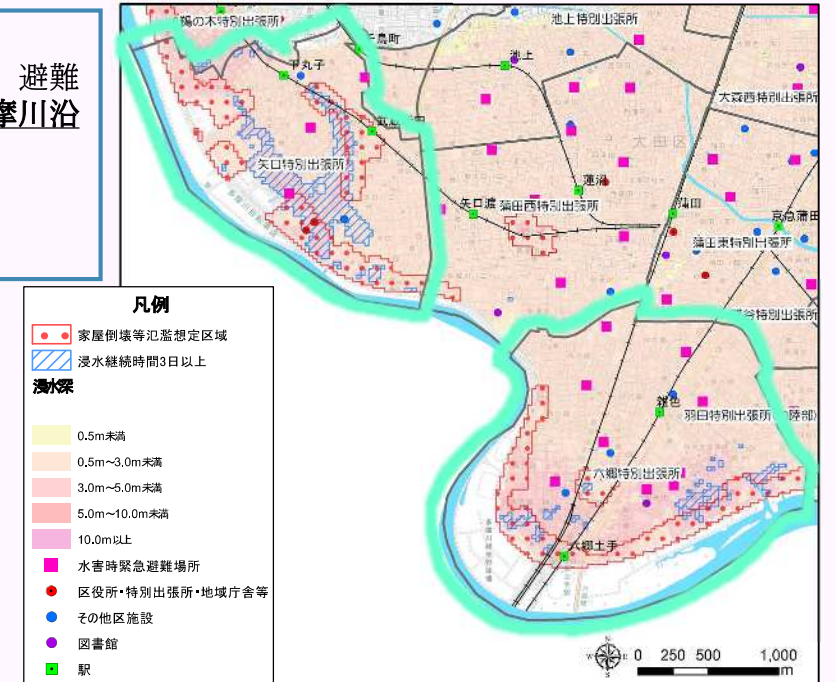
- ほぼ全域で0.5m以上の浸水が想定されており、家屋の1階が浸水する可能性があります。
- 最大浸水深は約5mで、家屋の2階も浸水する可能性があります。
- 多摩川沿いや、矢口特別出張所管轄範囲の標高が低いエリア等は家屋倒壊等氾濫想定区域です。また、浸水継続時間も3日以上となり、避難生活の長期化や孤立の可能性があります。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 浸水深が大きいエリアや家屋倒壊等氾濫想定区域が広い**ため、避難対象者数が多いです**。また、多くの高台も浸水するため、**多摩川沿い地域では、高台が大きく不足**しています。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	家屋倒壊等氾濫想定区域面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
六郷	276.5	9.8	52.4	24,843	11,389	13,454人不足
矢口	183.4	38.5	61.8	19,430	2,065	17,365人不足
合計(多摩川沿い地域)	459.8(地域面積の93%)	48.4(地域面積の10%)	114.2(地域面積の23%)	44,273(地域人口の40%)	13,454	30,819人不足

出典：多摩川・浅川・大栗川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、まちマップおた、地理院地図



高潮の場合

■ハザードの特徴

- 六郷特別出張所管轄範囲のほぼ全域、矢口特別出張所管轄範囲の多摩川沿いや標高が低いエリア等で、概ね0.5m以上3m未満の浸水が想定されており、家屋の1階が浸水する可能性があります。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 浸水想定区域が広い**ため避難対象者数が存在しますが、高台で十分に受入可能であり、多摩川沿い地域のすべての特別出張所管轄範囲で高台は不足していません**。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
六郷	273.9	0.1	7,723	13,416	5,693人余裕あり
矢口	95.9	0	1,699	3,163	1,464人余裕あり
合計(多摩川沿い地域)	369.8(地域面積の75%)	0.1(地域面積の0%)	9,422(地域人口の8%)	16,579	7,157人余裕あり

出典：高潮浸水想定区域図(想定最大規模)、まちマップおた、地理院地図



中小河川氾濫・内水氾濫の場合

■ハザードの特徴

- ほぼ全域が浸水想定区域で、大部分は0.5m未満の浸水が想定されています。
- 矢口特別出張所管轄範囲の標高が低いエリアでは最大1.5m程度の浸水が想定されており、家屋の1階が浸水する可能性があります。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 浸水想定区域が広い**ため避難対象者数が存在しますが、高台で十分に受入可能であり、多摩川沿い地域のすべての特別出張所管轄範囲で高台は不足していません**。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	家屋倒壊等氾濫想定区域面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
六郷	218.0	0	0	289	18,800	18,511人余裕あり
矢口	136.4	0	0	1,265	3,163	1,898人余裕あり
合計(多摩川沿い地域)	354.4(地域面積の72%)	0(地域面積の0%)	0(地域面積の0%)	1,554(地域人口の1%)	21,963	20,409人余裕あり

出典：城南地区河川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、野川、仙川、入間川、谷沢川及び丸子川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、東京都作成の内水氾濫浸水想定区域、まちマップおた、地理院地図



6. 糀谷・羽田地域 エリア特性

概ね大森東特別出張所、糀谷特別出張所、羽田特別出張所(内陸部)の管轄範囲からなる地域です。

■地形

- 地域の大部分は平坦な低地、東部は平坦な埋め立て地です。

■土地利用・都市機能の集積状況

- 駅周辺には商店街があるなど、商業施設が集積しています。
- 産業道路や環八通り沿いには中高層建物が多く立地しています。
- 東部には住宅地と隣接した工業専用地域が、羽田旭町には、大規模な物流施設があり、住宅と工場が混在した市街地が広がっています。

■人口

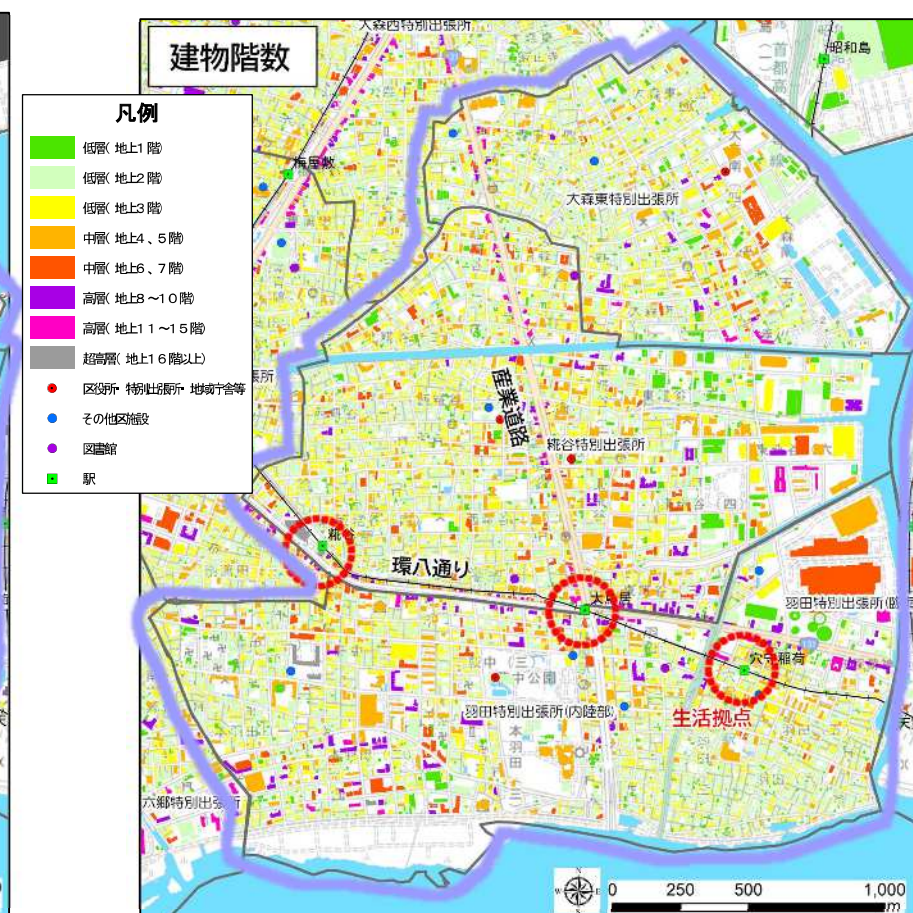
- 昼夜間人口比率が低く、主に区民の居住地となっている地域であると考えられます。

■大田区都市計画マスタープランでの都市づくり方針

- 糀谷・羽田地域では、住環境に配慮した工場の操業環境の維持や防災性に配慮した市街地環境の改善を進めるとともに、隣接するHANEDA GLOBAL WINGS(羽田グローバルウイングズ)の開発による大田区の発展と連携した、地域の特色を活かし来街者を惹きつける都市づくりを進めます。

■まちづくりでの位置づけ・まちづくりの動き

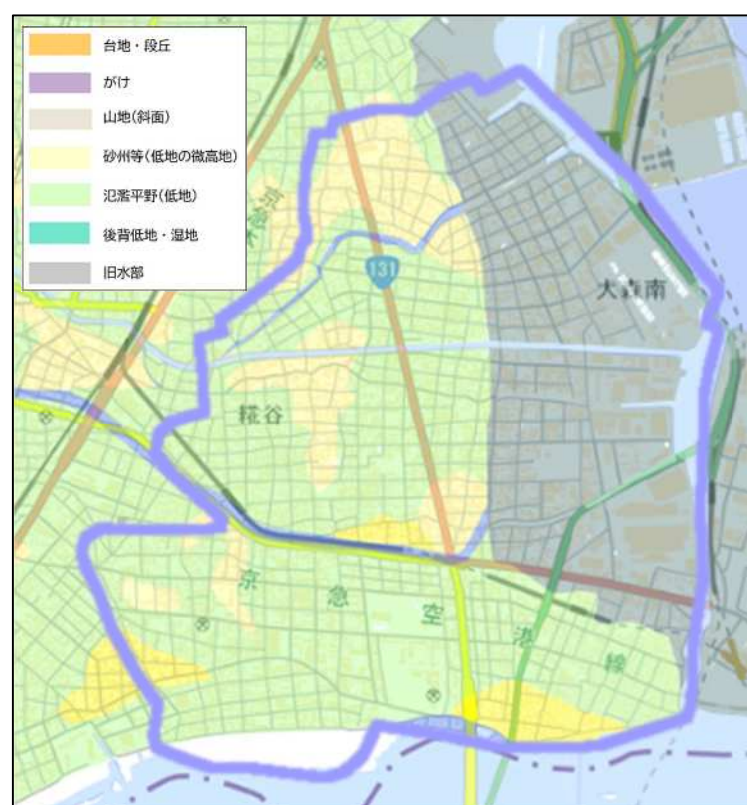
- 糀谷駅周辺・大鳥居駅周辺・穴守稻荷駅周辺は、大田区都市計画マスタープランでの将来都市構造において、生活拠点(暮らす・働くなどの生活を支える拠点)に位置付けられています。



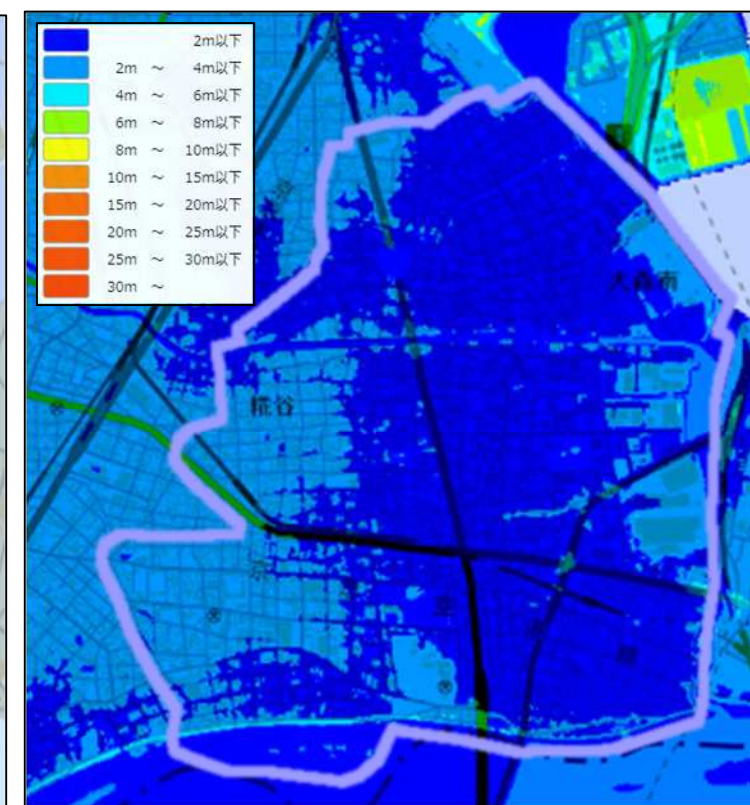
出典：令和3年度区部土地利用現況調査、まちマップおおた、国土数値情報、地理院地図

特別出張所	面積 (ha)	夜間人口 (人)	世帯数 (世帯)	昼間人口 (人)	昼夜間人口比率(%)	高齢化率 (%)
大森東	112.6	17,737	8,967	15,506	87.4	23.8
糀谷	219.0	41,636	22,459	33,121	79.5	22.6
羽田(内陸部)	227.5	39,660	21,311	37,397	94.3	23.2
合計 (糀谷・羽田地域)	559.1	99,033	52,737	86,024	86.9	23.0

出典：R2国勢調査、推計昼間人口データ(esriジャパン)



出典：地理院地図 地形分類(自然地形)



出典：地理院地図 自分で作る色別標高図

6. 糶谷・羽田地域 水害の危険性

多摩川氾濫の場合

■ハザードの特徴

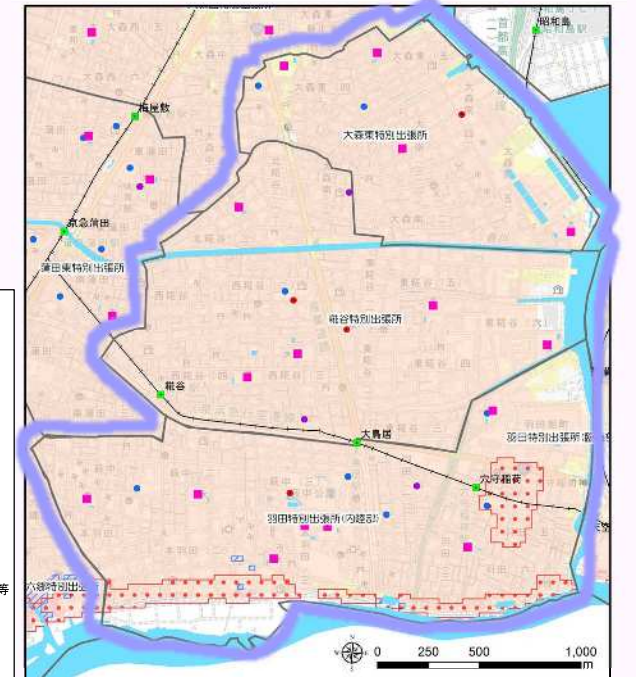
- ほぼ全域で0.5m以上3m未満の浸水が想定されており、家屋の1階が浸水する可能性があります。
- 多摩川沿いや、穴守稲荷駅東側のエリアは家屋倒壊等氾濫想定区域です。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 大森東・糶谷特別出張所管轄範囲では、浸水想定区域が広いため避難対象者数が存在しますが、高台で十分に受入可能であり、高台は不足していません。
- 羽田特別出張所管轄範囲(内陸部)では、浸水想定区域が広く避難対象者数全員を高台で受け入れることができず、高台が大きく不足しています。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	家屋倒壊等氾濫想定区域面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
大森東	105.6	0	0	2,587	4,314	1,727人余裕あり
糶谷	210.5	0	0	5,468	6,664	1,196人余裕あり
羽田(内陸部)	216.3	0.4	27.9	9,992	6,996	2,996人不足
合計(糶谷・羽田地域)	532.4 (地域面積の95%)	0.4 (地域面積の0%)	27.9 (地域面積の5%)	18,047 (地域人口の18%)	17,974	73人余裕あり

出典：多摩川・浅川・大栗川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、まちマップおおた、地理院地図



高潮の場合

■ハザードの特徴

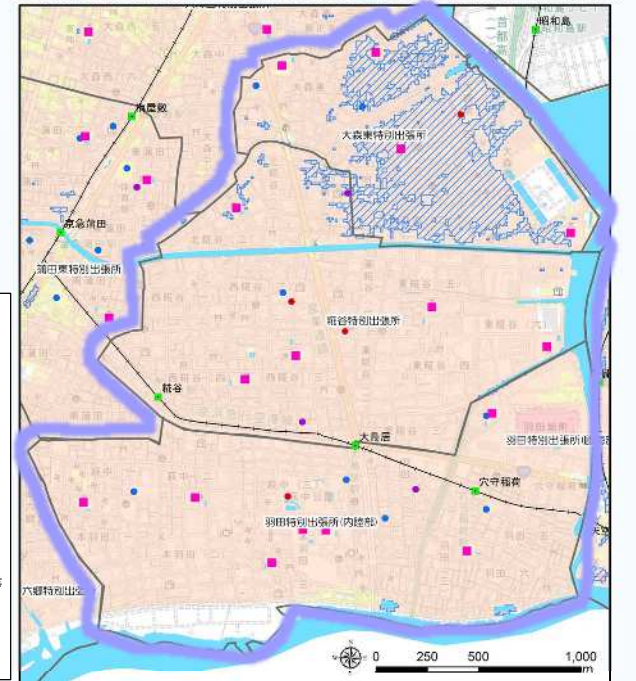
- ほぼ全域で0.5m以上3m未満の浸水が想定されており、家屋の1階が浸水する可能性があります。
- 羽田旭町では局所的に最大5m以上の浸水が想定されており、家屋の2階が浸水する可能性があります。
- 大森東特別出張所管轄範囲の約半分は浸水継続時間も3日以上であり、避難生活の長期化や孤立の可能性があります。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 浸水想定区域が広いため避難対象者数が存在しますが、高台で十分に受入可能であり、糶谷・羽田地域のすべての特別出張所管轄範囲で高台は不足していません。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
大森東	103.7	51.9	2,613	4,314	1,701人余裕あり
糶谷	212.2	2.8	5,477	6,664	1,187人余裕あり
羽田(内陸部)	222.8	0.5	4,972	7,415	2,443人余裕あり
合計(糶谷・羽田地域)	538.7 (地域面積の96%)	55.2 (地域面積の10%)	13,062 (地域人口の13%)	18,393	5,331人余裕あり

出典：高潮浸水想定区域図(想定最大規模)、まちマップおおた、地理院地図



中小河川氾濫・内水氾濫の場合

■ハザードの特徴

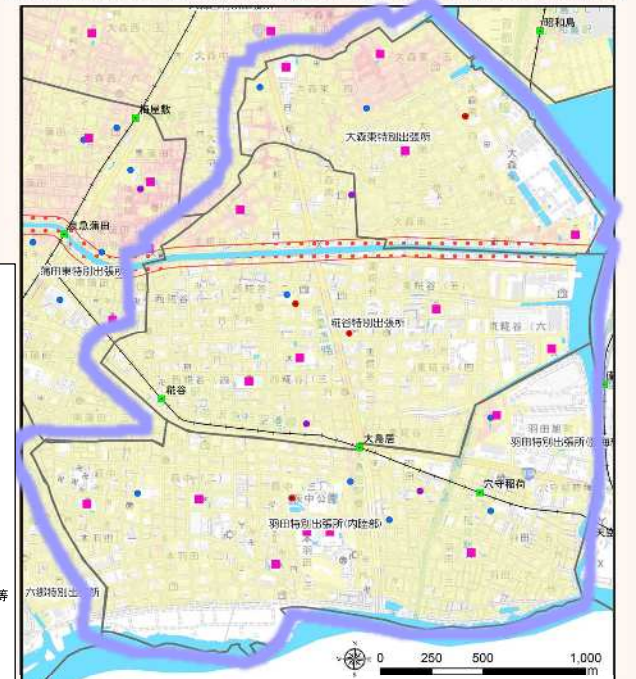
- ほぼ全域が浸水想定区域で、大部分は0.5m未満の浸水が想定されています。
- 大森東特別出張所管轄範囲の北部の一部では最大1m以上の浸水が想定されており、家屋の1階が浸水する可能性があります。
- 呑川沿いは家屋倒壊等氾濫想定区域です。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 浸水想定区域が広いですが大部分は浸水深が低く、避難対象者は高台で十分に受入可能であり、糶谷・羽田地域のすべての特別出張所管轄範囲で高台は不足していません。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	家屋倒壊等氾濫想定区域面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
大森東	84.0	0	5.8	1,506	4,314	2,808人余裕あり
糶谷	153.5	0	14.4	2,774	8,976	6,202人余裕あり
羽田(内陸部)	152.2	0	0	71	10,510	10,439人余裕あり
合計(糶谷・羽田地域)	389.7 (地域面積の70%)	0 (地域面積の0%)	20.2 (地域面積の4%)	4,351 (地域人口の4%)	23,800	19,449人余裕あり

出典：城南地区河川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、野川、仙川、入間川、谷沢川及び丸子川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、東京都作成の内水氾濫浸水想定区域、まちマップおおた、地理院地図



7. 空港臨海部地域 エリア特性

概ね入新井特別出張所(臨海部)、羽田特別出張所(臨海部)の管轄範囲からなる地域です。

■地形
 ・地域の全域が平坦な埋め立て地です。

■土地利用・都市機能の集積状況
 ・地域の建物のほとんどが産業用の建物です。
 ・入新井特別出張所管轄範囲(臨海部)には、大規模な物流施設があります。
 ・羽田特別出張所管轄範囲(臨海部)は東京国際空港が立地しています。

■人口
 ・入新井特別出張所管轄範囲(臨海部)は、昼夜間人口比率が高く、区民だけでなく多くの来街者が訪れる地域であり、経済活動や商業活動が活発な地域です。
 ・特に、羽田特別出張所管轄範囲(臨海部)は東京国際空港が立地しており、夜間人口が0人に対して、昼間人口は6万人以上となっています。

■大田区都市計画マスタープランでの都市づくり方針
 ・空港臨海部地域では、「空港臨海部グランドビジョン」に基づき、港湾・物流・流通機能などの維持強化や産業機能の集積、HANEDA GLOBAL WINGS(羽田グローバルウイングズ)の機能充実など、既存機能と共存した都市づくりを進めます。

■まちづくりでの位置づけ・まちづくりの動き
 ・HANEDA GLOBAL WINGS周辺は、将来都市構造において、中心拠点(都市機能、鉄道・バスなどが集中する拠点)に位置付けられています。
 ・流通センター駅は、将来都市構造において、生活拠点(暮らす・働くなどの生活を支える拠点)に位置付けられています。



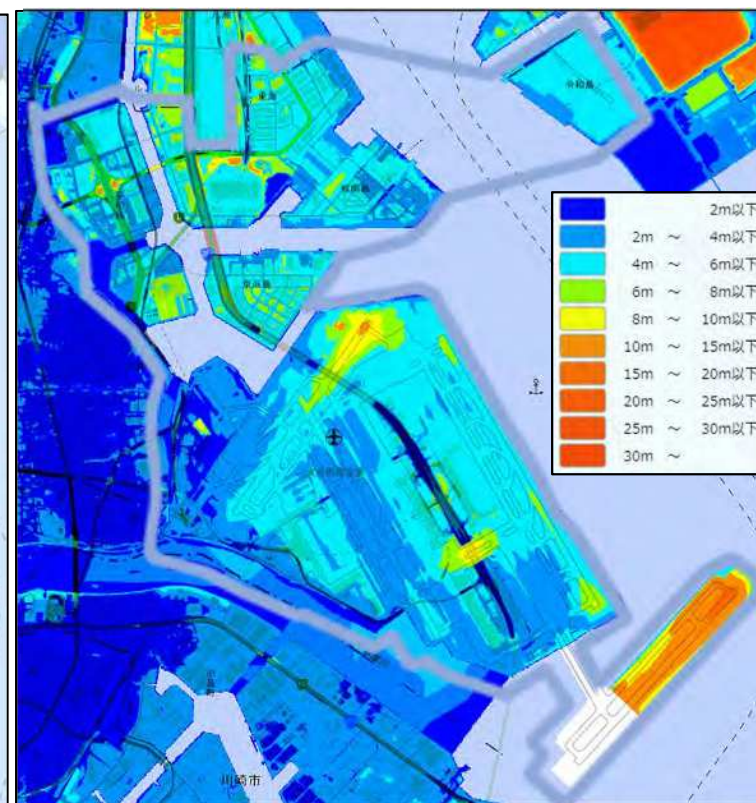
出典：令和3年度区部土地利用現況調査、まちマップおおた、国土数値情報、地理院地図

特別出張所	面積 (ha)	夜間人口 (人)	世帯数 (世帯)	昼間人口 (人)	昼夜間人口比率 (%)	高齢化率 (%)
入新井 (臨海部)	766.4	302	273	49,619	16,430.1	2.6
羽田 (臨海部)	1,444.6	0	0	62,139	-	-
合計 (空港臨海部地域)	2,211.0	302	273	111,758	37,006.0	2.6

出典：R2国勢調査、推計昼間人口データ(esriジャパン)



出典：地理院地図 地形分類(自然地形)



出典：地理院地図 自分で作る色別標高図

7. 空港臨海部地域 水害の危険性

多摩川氾濫の場合

■ハザードの特徴

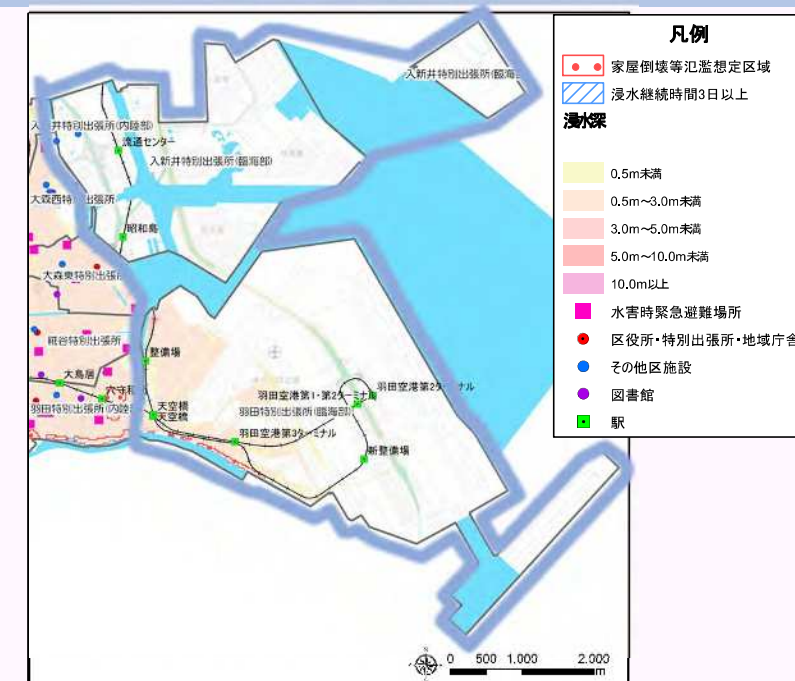
- 羽田特別出張所(臨海部)管轄範囲の西部で概ね0.5m以上3m未満の浸水が想定されており、家屋の1階が浸水する可能性があります。一部標高の低いエリアでは、最大10m以上の浸水が想定されています。
- 多摩川沿いには家屋倒壊等氾濫想定区域が存在します。
- その他のエリアは浸水想定区域外です。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 居住者がほぼおらず、避難対象者数が存在しないため、空港臨海部地域のすべての特別出張所管轄範囲で高台は不足していません。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	家屋倒壊等氾濫想定区域面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
入新井(臨海部)	0	0	0	0	0	不足していない
羽田(臨海部)	237.7	0	6.0	0	0	不足していない
合計(空港臨海部地域)	237.7(地域面積の11%)	0(地域面積の0%)	6.0(地域面積の0%)	0(地域人口の0%)	0	不足していない

出典：多摩川・浅川・大栗川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、まちマップおた、地理院地図



高潮の場合

■ハザードの特徴

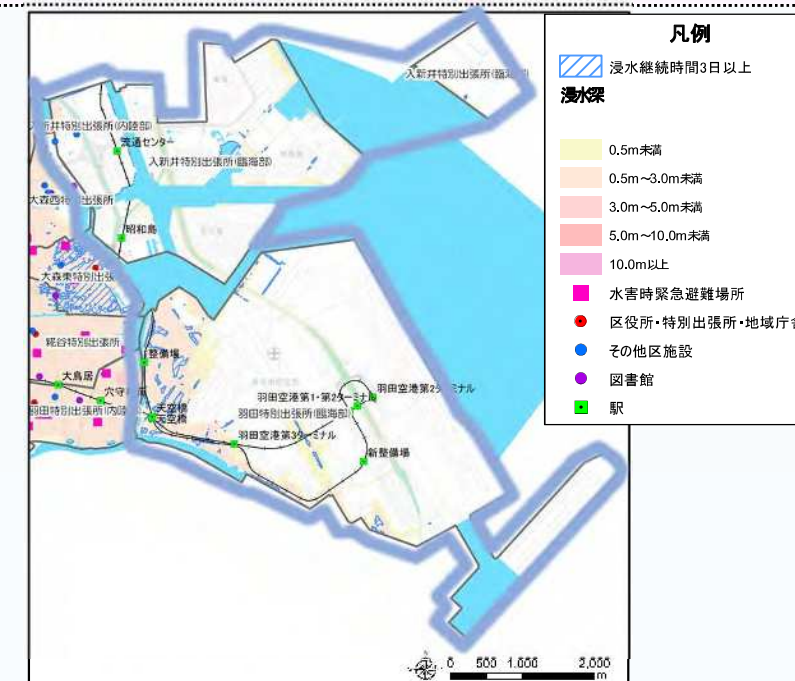
- 羽田特別出張所(臨海部)管轄範囲の西部や海沿いで概ね3m未満の浸水が想定されており、家屋の1階が浸水する可能性があります。
- その他のエリアは浸水想定区域外です。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 居住者がほぼおらず、避難対象者数が存在しないため、空港臨海部地域のすべての特別出張所管轄範囲で高台は不足していません。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
入新井(臨海部)	60.4	3.4	0	0	不足していない
羽田(臨海部)	251.0	20.0	0	0	不足していない
合計(空港臨海部地域)	311.4(地域面積の14%)	23.4(地域面積の1%)	0(地域人口の0%)	0	不足していない

出典：高潮浸水想定区域図(想定最大規模)、まちマップおた、地理院地図



中小河川氾濫・内水氾濫の場合

■ハザードの特徴

- 入新井特別出張所(臨海部)管轄範囲では、ほぼ全域で概ね0.5m未満の浸水が想定されています。一部標高の低いエリアでは、最大10m以上の浸水が想定されています。
- 羽田特別出張所(臨海部)管轄範囲は、ほぼ全域が浸水想定区域外です。

■高台(水害時緊急避難場所)の不足状況

- 居住者がほぼおらず、避難対象者数が存在しないため、空港臨海部地域のすべての特別出張所管轄範囲で高台は不足していません。

特別出張所	浸水想定区域面積(ha)	浸水継続時間3日以上面積(ha)	家屋倒壊等氾濫想定区域面積(ha)	避難対象者数(人)	受入人数(人)	高台が不足する人数(人)
入新井(臨海部)	551.6	0	0	0	0	不足していない
羽田(臨海部)	0.1	0	0	0	0	不足していない
合計(空港臨海部地域)	551.7(地域面積の25%)	0(地域面積の0%)	0(地域面積の0%)	0(地域人口の0%)	0	不足していない

出典：城南地区河川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、野川、仙川、入間川、谷沢川及び丸子川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、東京都作成の内水氾濫浸水想定区域、まちマップおた、地理院地図

